

## 1/24 ヨハネ1章35－51節「キリストに従って行く」と

小池 宏明 牧師

今日の箇所では、救い主のイエス様に出会って、イエス様に付いて行く、そして、イエス様の弟子になっていった人々が登場する。そのような弟子たちの中で、主イエス様に見いだされたピリポと、ピリポが紹介したナタナエルに注目する。

### \*主に見いだされ招かれたピリポとナタナエル

主イエス様は、ピリポを見つけて「わたしに従って来なさい」と御声を掛けられた。(43節) 私たちは、さまざまな出会いの中で、キリストの救いを頂き、キリストの教会に加えられてきたことだろう。しかし、忘れてならないことは、主イエス様が御声を掛けて下さったことだ。主の招きがなければ、ピリポも私たちも、主イエス様に出会うことはないのだ。ピリポは主イエス様の弟子になった。弟子は主人から学び、主人を見習う者である。主イエス様がピリポに関わってくだっただように、ピリポはナタナエルに関わったのだ。(45節)

(ナタナエルは、12弟子のバルトロマイと同一人物だとされている) ところが、ナタナエルはイエスがメシヤだとは信じられない。しかし、ピリポはあきらめずに、ナタナエルを主イエス様のもとに連れて来た。(46節) そうしたらイエス様は、心頑ななナタナエルに合わせるように関わり、ナタナエルの不信感を、取り除いて、信仰の告白に至らせたのである。(47-49節)

### \*主に従って行くともっと大きなことを見る

ナタナエルに、信仰(告白)が与えられて、それで終わりではない。主イエス様を信じて、従って行くときに、大きな体験をするのだ。(50節) それは、51節でイエス様が語られた体験である「そして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るようになります。」

「あなたがた」と複数形になっていて、ナタナエルだけではなく、キリスト信仰を告白しているすべての人に対して、主は語っている。これは、人の子、すなわちイエス・キリストが、父なる神様と私たちをつなぐ「はしご」のようになることが、霊的に見えるようになるということである。

私たちは、救い主であるイエス・キリストのとりなしによって、父なる神様ともっともっと深い交わりを体験することができる。それは永遠に続く交わりだ。私たちには、まだまだ知らない世界が広がっていることを期待して、希望を持って、主イエス様と共に、歩んで行こう!